

みつけた！



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

## ミツバチの生態を学びながらキャンドルづくり！

2月25日（土）の午前と午後、（公財）環境科学技術研究所との共催事業として、<sup>みつろう</sup>蜜蝋キャンドルづくり教室を開催しました。参加者たちは、講師である環境科学技術研究所職員のお二方の解説を聞いたあと、<sup>みつろう</sup>蜜蝋で自分だけのキャンドルをつくって楽しんでいました。（午前15名、午後15名参加）

日本には、古来から住んでいるニホンミツバチと、明治時代にアメリカから輸入されたセイヨウミツバチがいます。

<sup>みつろう</sup>蜜蝋とは、ミツバチがお腹から分泌する<sup>ろう</sup>蝋で、ハチの巣の材料となります。<sup>みつろう</sup>蜜蝋キャンドルは煙や<sup>すす</sup>煤が出ないことからヨーロッパの教会で重宝されていました。



ミツバチの生態や蜜蝋について解説する講師



参加者にキャンドルのつくり方を指導する講師



湯せんをして柔らかくした蜜蝋に色をつけたり、粘土のように造形したりして、可愛いキャンドルをつくりました。



まがりんだよ！

完成しました！

### 【参加者の感想】

- ・自由に造形するのが楽しくて時間があっという間に過ぎました。
- ・ハチの生態や六ヶ所村の草花に興味がわきました。春になったらよく観察してみたいです。



記念撮影♪